

編集後記

臨海工業地帯の造成や万国博の影響を受けて、文化財の破壊や盗難がこれほど連続して発生したことはこれまでにはなかったことでしよう。有形文化財はその破壊が眼にしうるだけに人々の関心を惹き易いが、無形文化財は年々忘却の彼方に消え失せているのに、それほど騒がれない現状を放置しておくこともできないので、民俗への関心を高めていただくことを考えて、本号は民俗特輯号にしたいと期していました。好都合にも、ダムの建設が計画されて水汲が予想される玖珠・日田両郡境地区の民俗調査を県教委が八月に実施しましたので、その調査報告を中心に佐藤満洋・長谷川哲両氏の玉稿をえて、所期の計画を遂えることができました。

執筆者の方々にお詫びしなければならないのは、小生の編集は十二月に発行するはずの五六号の予定でしたので、十月に原稿を締切りましたのに発行が遅れてしまったことです。実は五四・五五号が台輯号になった関係で、小生の編集分は三月発行の五七号ということに変更されました。原稿は印刷所に十一月に送り、二月上旬に初校を済ませましたが、台輯号の発行が予定より著しく遅れたために、順繰りに発行が遅れてしまいました。以上のような事情で発行が遅れましたこと

を厚く御詫び致します。次に佐藤満洋氏の「南大分盆地の施戯鬼」は詳細なご調査で長文のため、五六号と二回に分けて掲載することになりましたことをご諒承下さい。
(染矢)

昭和四十五年三月二十五日印刷
昭和四十五年三月三十一日発行

発行人 渡 辺 澄 夫

印刷人 高 井 久 雄

大分市上野町七番二十五号

三恵印刷株式会社

電話⑤〇一二三番

大分市且ノ原

大分大学教育学部国史研究室内

発行所 大分県地方史研究会

(振替下関五二九四番)